# 1 製造販売業者の対応状況―医薬品全体(令和7年9月)

○ 製造販売業者の対応状況については、**限定出荷・供給停止が合計14%**(2,224品目)であり、限定出荷の要因としては 「他社品の影響」によるものが最多であった。

# (その他) 大名の他) 1%, 121 品目 限定出荷(他社品の影響) 4%, 641 品目 限定出荷(自社の事情) 4%, 592 品目 (自社の事情) 通常出荷 86%, 13,795 品目

カテゴリー別:「供給停止」、「限定出荷」の割合

2025年9月	供給	停止	限定出荷		
調査結果	銘柄数	構成比	銘柄数	構成比	
先発品	67	8%	109	8%	
長期収載品 ※	44	5%	71	5%	
後発品	534	61%	885	65%	
その他医薬品 ※	225	26%	289	21%	
合計	870	100%	1,354	100%	

#### 項目の定義

※長期収載品:後発品のある先発品

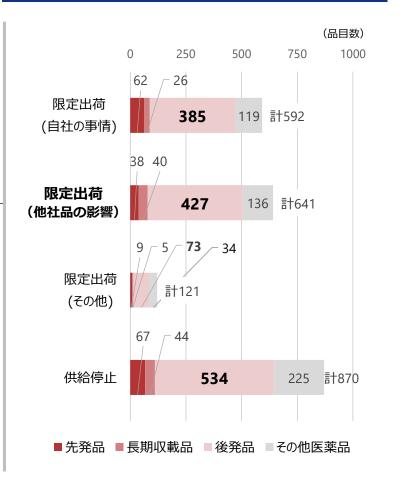
※その他の医薬品:局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤 (ワクチン、血液製剤等)、承認が昭和42年以前の医薬品など

#### カテゴリー別:限定出荷の要因(自社事情、他社品の影響)分析

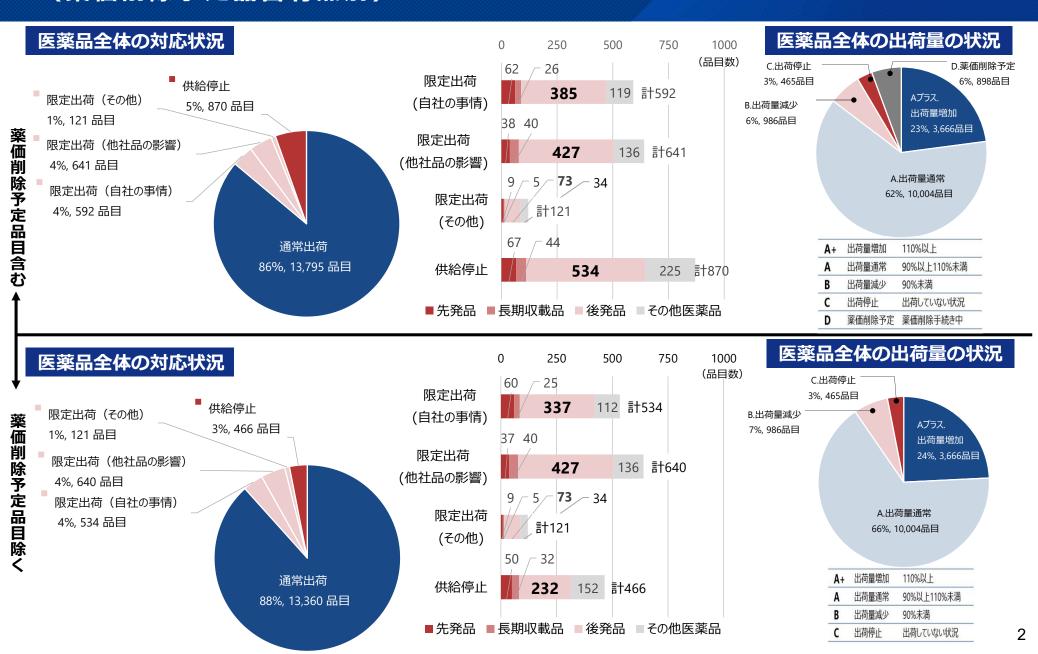
2025年9月	限定出荷									
調査結果	自社の事情		他社品の影響		その他		合計			
先発品	62	10%	38	6%	9	7%	109	8%		
	57%		35%		8%		100%			
長期 収載品 ※	26	4%	40	6%	5	4%	71	5%		
	37%		56%		7%		100%			
後発品	385	65%	427	67%	73	60%	885	65%		
	44%		48%		8%		100%			
その他 医薬品 ※	119	20%	136	21%	34	28%	289	21%		
	41%		47%		12%		100%			
合計	592	100%	641	100%	121	100%	1,354	100%		
	44	%	47	'%	9%		100%			

注:本集計については、令和6年度以前は「医薬品供給状況にかかる調査」(日本製薬団体連合会)、令和7年度以降は「医療用医薬品供給状況報告」(厚生労働省医薬産業振興・医療情報企画課)に基づく。以下同じ。

#### 2 限定出荷・供給停止の内訳

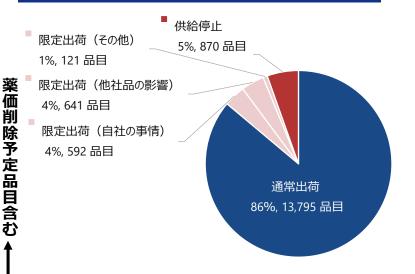


# 1-2 製造販売業者の対応状況—医薬品全体(令和7年9月) (薬価削除予定品目有無別)

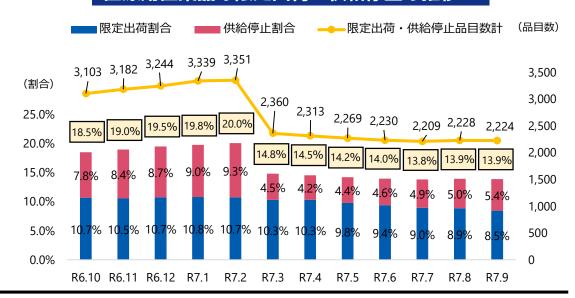


# 1 - 3 ① 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の状況の推移 (令和 6 年~ 7 年度) (供給(限定出荷・供給停止)の状況)

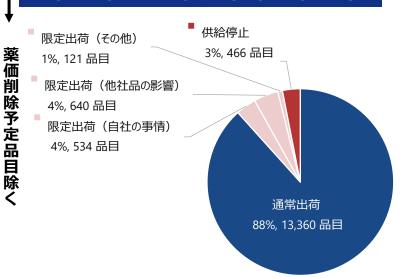




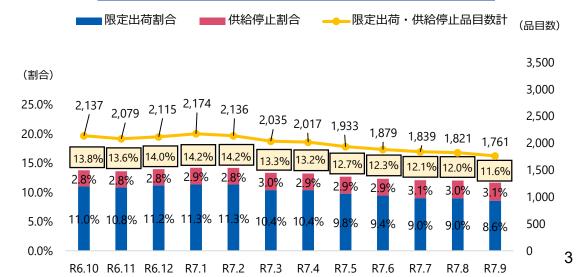
#### 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の推移



#### 医薬品全体の対応状況(令和7年9月)

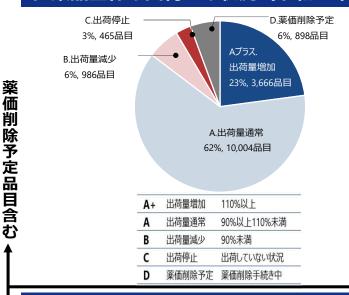


#### 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の推移

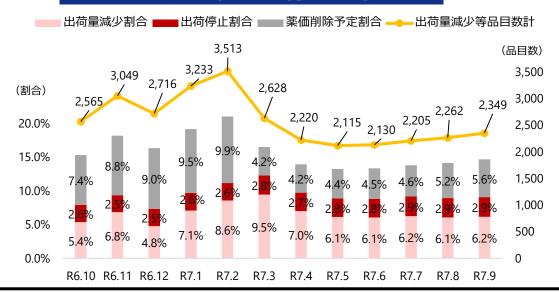


# 1-3② 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の状況の推移 (令和 6年~ 7年度) (出荷量(減少・停止・薬価削除予定)の状況)

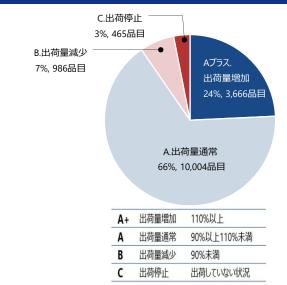
#### 医薬品全体の出荷量の状況(令和7年9月)



#### 医療用医薬品の出荷量の推移

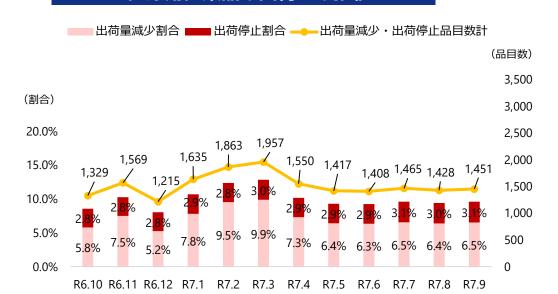


#### 医薬品全体の出荷量の状況(令和7年9月)



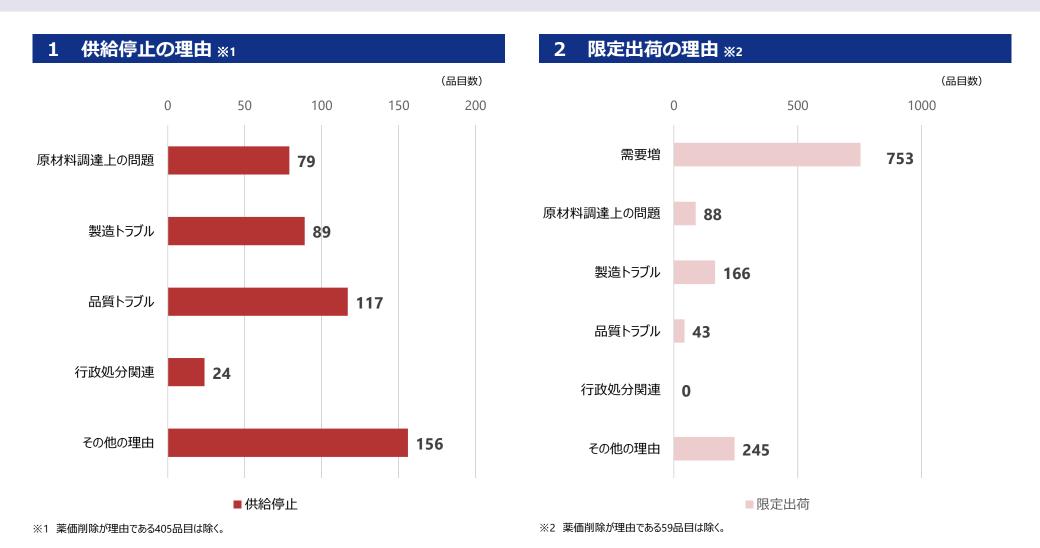
薬価削除予定品目除

#### 医療用医薬品の出荷量の推移



# 1-4 供給停止・限定出荷の理由(令和7年9月)

〇 供給停止870品目、限定出荷1,354品目について、供給停止・限定出荷の理由の回答を得た。供給停止の理由は「その他の理由」が最も多く、限定出荷の理由は「需要増」が最多であった。



# 2 製造販売業者の出荷量の状況―医薬品全体(令和7年9月)

〇 製造販売業者の出荷量の状況については、<u>出荷量通常は合計85%</u>、出荷量通常以外の<u>出荷量減少・出荷停止・薬価削除予</u> **定が合計15%**であり、出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定の内訳としては、いずれも「後発品」が最多であった。

# 1 医薬品全体の出荷量の状況 2 出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定の内訳 C.出荷停止 6% 898品目

